

Pick Up

今月の話題

「えとタイムカプセル」 掘り起こし式

宝箱の中から12年前の思い出の品を
取り出した参加者



町内六つの小学校で12年前に6年生だった児童が埋めた「えとタイムカプセル」の掘り起こし式は8月11日、猪苗代ハープ園で行われ、タイムカプセルを埋めた卒業生のうち、約50人が参加しました。参加者は、自分に宛てた手紙や思い出の品を見せ合いながら、当時の思い出を語り合いました。

翁島小学校卒業生の國分伊三郎さん（会津若松市）は「私の手紙には『人生は一回しかないから120%楽しめ』この手紙を見て腹から笑え」と書いてありました。この手紙を見て、人生を120%楽しもうと思いました」と話しました。



タイムカプセルから鍵を取り出す参加者

Contents — 【目次】

- 02 Pick Up
- 03 日本遺産ダブルで継続認定
- 04 記録的大雨により本町でも甚大な被害発生
- 06 まちのわだい
- 08 いなわしろタウンページ
- 15 地域おこし協力隊通信
- 16 暮らしの情報広場
- 18 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー

今月の表紙



【撮影日】 8月29日
【撮影場所】 湖南港（郡山市）

「天鏡湖」とも称される猪苗代湖。この猪苗代湖の水の恩恵を受けるため、「安積開拓・安積疎水開さく事業」が行われました。この事業は、猪苗代湖の水を治め、米や鯉などの食文化を一層豊かにし、水力発電による紡績等の新たな産業の発展をもたらしました。【関連3ページ】

日本遺産ダブルで継続認定

「会津の三十三観音めぐり」
（会津17市町村）
「未来を拓いた『一本の水路』」
（郡山市・猪苗代町）

日本遺産とは？

日本遺産は文化庁が平成27年度に創設した制度で、地域の歴史的魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として認定するものです。ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形のさまざまな文化財群を総合的に活用する取り組みが支援されます。

令和4年8月現在、全国で104件が認定されています。

2つのストーリーが高い評価を受け継続認定

平成28年に日本遺産認定を受けたストーリー「会津の三十三観音めぐり」巡礼を通して観た往時の会津の文化」と「未来を拓いた『一本の水路』」大久保利通「最期の夢」と開拓者の軌跡 郡山・



猪苗代」は、認定から6年が経過したことから文化庁による総括評価・継続審査が行われました。これまでの取り組みや今後の計画などが高い評価を受け、2つのストーリーとも継続して認定されることになりました。今後もストーリーを生かした観光振興や郷土愛の醸成などの地域活性化に取り組めます。

一本の水路日本遺産ブランド認定商品・団体を募集

一本の水路ストーリーにおける「挑戦・多様性・共生」のイメージに沿った優れた商品や活動を行う団体を募集しています。詳しくは、お問い合わせください。

▼問い合わせ先

企画財務課 企画調整係
☎（62）2112



「会津の三十三観音めぐり」の構成文化財の一つ「観音寺宝篋印塔」



安積疎水開さく事業を監修したオランダ人技師ファン・ドールンの像



湖岸地区の氾濫を防ぐ治水の役割も果たす十六橋水門（戸ノ口）